



「SAP® S/4 HANA」 質疑・デモで情報大公開!

「SAP® ERP新規導入」のデモも用意!

5月29日(金)・30日(土)、静岡県掛川市のヤマハリゾートつま恋で開催される「緑の中のIT会議 SAPユーザ・サミット」(SAPジャパン(株)協賛)。今年は「SAP S/4HANA」と「SAP ERP新規導入」の質疑・デモンストレーションが予定されている。このサミットは、SAPユーザ企業、導入検討中企業が参加し、自由に本音で語り合えるのが魅力である。SAPジャパン(株)代表取締役社長 福田謙氏と、S/4HANAのスペシャリストも参加するため、ここでしか聞けない話も期待ができる。参加経験のある2社に、「SAPユーザ・サミット」の魅力についてうかがった。



softes

株式会社 ソフテス
総務部リーダー
大澤 琴音 氏



オンキヨー&パイオニア株式会社

2011年12月導入プロジェクト開始、2012年9月SAP BPC、10月にSAP ERPを本稼働



営業管理部 販社課

秋葉 純 氏

営業管理部 販社課

石井 佑典 氏

今年のサミットの目玉は 「SAP S/4HANA」の 質疑・デモ

大澤: SAP S/4HANAが発表されましたね。今年のサミットは、S/4HANAの質疑・デモンストレーションを企画しております。

目黒: とても気になりますね。新聞やインターネットなどは情報が偏っている場合がありますが、「SAPユーザ・サミット」では、S/4HANAについてSAPジャパンのスペシャリストとソフテスのコンサルタントから直接詳しいお話が聞けるそうなので、楽しみにしています。

秋葉: 「処理能力がはやい」、「DBの容量を

小さくすることができる」とか、インターネットにS/4HANAの情報がいろいろ載ってますよね。でも、具体的にどういう動きをするのかが見えてきません。講演による最新情報と、実物を見る機会の両方があると、社内にフィードバックしやすくなります。デモンストレーションは大変貴重だと思います。

石井: ユーザ企業も導入検討中の企業の方も、S/4HANAについては大変興味があると思いますね。サミットは例年以上に白熱した意見交換・質疑の場になりそうですね。今年はSAPジャパンの福田社長も参加されるとか。めったにない機会ですので、グループディスカッションや懇親会で、いろいろな話を聞いてみたいです。

岡田: 前回のサミットも盛り上がりましたね。ユーザ同士でわいわい言いながら、実際に操作もしました。専門的な話題になり、ついていけない時は、ソフテスのコンサルタントが丁寧にフォローしてくれました。

目黒: 「SAPユーザ・サミット」は、ベンダーの講演だけではなく、ユーザ同士の交流だけでもない。そのバランス感覚が素晴らしいと思います。毎年、S/4HANAのような最新の情報やSAPジャパンの方向性なども聞くことができるので、1泊2日という時間を割いてでも、静岡県まで足を運ぶ価値があると思うんです。自分だけでなく、必ず社員も参加させて、正確で新鮮な情報を得る場として利用しています。



株式会社モリタ

SAP ERP導入プロジェクト実施中



情報システム部 システム第3グループ
グループマネージャー

岡田 和久 氏

情報システム部
部長

目黒 博樹 氏



ユーザ・サミットの様子

緑の中のIT会議2015 「SAP®ユーザ・サミット」

2015 **5/29(金)30(土)**開催!

会場: ヤマハリゾート つま恋

参加ご希望の方は以下よりお申し込みください。

SAPユーザ・サミット

検索

- 主催: 株式会社ソフテス ●協賛: SAPジャパン株式会社 ●イベント参加費: 先着100名様無料(宿泊費、食事代含む)
- 対象: SAPユーザ企業様、SAP導入検討中の企業様、情報システム関係者、経営層からエンドユーザまで、部門を問わず参加可。
※同業者様はご遠慮ください。

ユーザの生の声が 生きた情報になる!

大澤: SAPユーザ・サミットで、実際にどのようなことをユーザ同士で話されましたか?

秋葉: 昨年のサミットでは、これから導入予定の企業の方に「現在使っているシステムとSAPを併用するつもりですが、どう思いますか?」と相談を受けました。「それは止めた方がいいです。SAPに一本化し、現状の業務は人海戦術でも何でも使ってまわし、いろいろな部署と協力しながら導入を早めた方が後々楽ですよ」と進言しました。自分たちの経験を踏まえたリアルな情報をお伝えすることができたので、よかったです。これから導入される方の不安を少しでも軽減できればいいと思います。

石井: 当社はSAP BPCも導入しているので、それについての質問が多かったですね。マスターのデータがばらばら散らばって一元管理できない、情報の検証・分析・今後の施策について時間を割けない、情報を整理する作業を効率化できないか、そんな悩みがほとんどでしたが、「弊社はこんなアプローチをしています」といった有益な情報も聞けました。こうした情報によってSAP BPCの効率的な運用を実現できています。

目黒: このサミットに参加したことが、当社がSAP ERPを導入する決め手になったのは間違いありません。何も知らないところから始まり、まずはいろいろな情報、ユーザの

意見を吸収したいと思っていました。当社の社長はかなり早い段階でSAP ERPに着目していたので、最初は社長と一緒に参加し、社長自身が導入を決定しました。SAPジャパンの当時の社長ギャレット氏と当社の社長が懇談する機会もあり、サミットでの感触を大切にしていたように思います。また、ユーザのみなさんが本当に優しくて、本音で話してくれます。実際運用しているユーザ、検討中のユーザに普段聞けないことも聞くことができます。上手く導入できた企業の方の話も十分聞けたので、不安を払拭できました。

岡田: 「ビッグバン導入は大変だけど、まずは飛び込んでみなさい」という言葉も我々の背中を押してくれましたね。

目黒: 当社は今まさに運用をスタートしようとしています。何年も経つと当時のパワーユーザがいなくなって大変、といった生の声も聞きました。気をつけなくてはいけないと思っています。

石井: パワーユーザが頻りに代わることにしてどのように対処しているのか、という質問は多かったですね。「教育も仕事」とユーザ教育を徹底している企業もあります。当社にとっても悩みの一つでしたので、大変参考になりました。

秋葉: 私と石井は情報システム部ではなく、営業部の人間なので自己紹介をすると驚かれました。サミットは、やはりITの雰囲気はありますが、ソフテスの方がフォローしてくださり、入りやすい雰囲気をつくってくれ

ました。ガイドもしてくれたので、我々も安心できましたね。

大澤: SAPユーザ・サミットに期待していることはありますか?

秋葉: ユーザ同士で、「隠れたウラ技紹介」などを話せるといいですね。目からウロコのな情報を共有できたら面白いと思います。自社だけの限られた世界だと、意外と一元的な使い方しか知らなかったりしますから。

目黒: 他のユーザ会にはない趣があるので、このまま続けて発展して行って欲しいですね。ソフテスさんが、自社の顧客ユーザにだけでなく、SAPユーザ全てに対してオープンにしていこうという夢に着実に近づいていると思います。ぜひ多くのユーザに参加してもらい、より一層、有意義な交流、情報交換ができる場になっていくことを期待しています。

大澤: SAPユーザ・サミットが、皆様のシステム活用成果の最大化の一助となることを願っております。本日はありがとうございました。



[お申し込み・お問い合わせ]

株式会社ソフテス

http://www.softes.co.jp/summit/program/

本社 / 〒430-0944

静岡県浜松市中区田町330-5 遠鉄田町ビル4F

TEL / 053-450-3188 FAX / 053-450-3190

